

岩手・宮城内陸地震

中部地方整備局支援状況(土砂災害危険箇所への調査支援)

H20.6.17 17時時点

岩手・宮城内陸地震を受け、岩手県・宮城県の要請に基づき、緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)を派遣。中部地方整備局では、第1陣として6月14日より4チーム12名、第2陣として6月17日より4チーム12名を派遣。震度6弱を観測した宮城県栗原市(旧栗駒町)を中心に、土砂災害危険箇所を点検している。



これまでの調査状況

- 〔第1陣〕
- 〔6/14〕
- 17:22 まんなか号にて1班3人出発
- 22:00 3班12人 事務所出発
- 〔6/15〕
- 9:40 現地到着
- 12:50 本部にて指示を受け現地調査出発
- 4班で28箇所の調査を実施
(本局・多治見班、越美班、富士班、天上班の4班)
- 〔6/16〕
- 8:30 各班現地調査へ出発
- 4班で81箇所の調査を実施
- うち2箇所は緊急対応必要箇所
- 〔6/17〕
- 現地調査を継続
- 〔第2陣〕
- 〔6/17〕
- 午前中 4班12人 事務所出発
(本局・木曾上班、静河班、沼津班、設楽班の4班)



支援本部の状況(一階出張所)



住民への聞き取り調査状況



渓流上流崩壊箇所調査状況

越美山系砂防事務所では、国土交通省災害対策本部長の指揮のもと、緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）を6月14日22:00に現地に派遣しました。

現地では、震度6弱以上の地域（宮城県栗原市旧栗駒町地内）において、がけ崩れや地すべり等の予想される箇所を重点的に調査を行い6月18日に第二陣へ引き継ぎ帰還しました。被災地の早い復興を祈ります。

